

ミニサッカー大会

FCアラノスポーツ少年団主催の第5回パナホームカップ那珂川ちびっこミニサッカー大会が、11月3日に小川総合福祉センター多目的広場で開催され、町内外から67チーム560名の選手が出場し、園児の部、小学2年生以下の部、小学3年生以下の部の3つのカテゴリーで競い合いました。



開会式では、桑野正光教育長からは「日本代表の長友選手や本田選手を目指して頑張ってください」とエールが送られました。8面用意されたコートのあるこちらでボールを追いかける子供たちの姿に、保護者の皆さんから大きな声援が送られていました。

秋の登り窯まつり

小砂焼体験センター陶遊館及び藤田製陶所で、11月6日と7日の2日間、秋の登り窯まつりが開催され、小砂焼陶器市のほか、ろくろや絵付け体験、地元有志による餅つきや模擬店などに多くの観光客が訪れました。



どんぐり交流会

里山の森林保全と都市住民との交流を図ろうと那珂川町林業振興会主催のどんぐり交流会が、11月6日に小砂地区の里山で開催されました。東京や神奈川などの都会から参加した皆さんは、自らどんぐりの実を植えたどんぐりポットと苗を植えたどんぐりキューブの里親となり、自宅の庭やベランダで育て、1年後、大きくなったどんぐりの木を山に植えて、里山の再生に一役買うことになりました。昔などで盆栽風に思い思いに飾ったどんぐりキューブの出来ばえに皆さん満足そう。大事に持ち帰り、育て、1年後に再会することを約束していました。



下野ふるさと大賞 温泉トラフグが受賞

温泉を利用したトラフグの養殖事業を進めている那珂川町温泉トラフグ研究会が、この度、第7回下野ふるさと大賞を受賞し、11月9日に同研究会の野口勝明会長が、その報告に来庁しました。今回の受賞は、産学官連携で地域資源を生かし、地域振興に取り組んでいることや、海なし県でトラフグを育てるといふ発想のすばらしさなどが高く評価されたもので、数々のマスコミにも取り上げられ、那珂川町の知名度アップにも貢献しました。今年から出荷が始まった温泉トラフグが起爆剤となり、町の活性化が図られることが期待されます。



「那須のゆりがね」ゆりがねウォーク

なす風土記の丘資料館では、展示会「那須のゆりがね―産金の歴史―」に関連するイベントとして、「ゆりがねウォーク」が11月7日に開催されました。このイベントは、町内の産金に関連する史跡を歩いてめぐること、那須の歴史について考えることを目的とし、併せて健康増進を図ろうとするもので、約50名が参加しました。参加者は湯津上館からバスで移動し、大山田下郷・大内・健武の3地区にある坑口を見て回りながら約10kmを歩き、少しずつ色づき始めた紅葉を見ながらいい汗を流していました。

盛谷地区で紅葉・新そばまつり

11月13日、なごみの郷公園イベント広場(盛泉)でボランティア盛谷協議会主催の第3回紅葉・新そばまつりが開催されました。



益子盛会長からは、「自分たちの地域は自分たちで活性化しよう」と、6年前から休耕田を活用してポピー園を整備してきました。今年も10月に種をまき、ボランティアで頑張ってきたポピーが咲く頃、ぜひ、皆さんに見に来てもらいたいです」とあいさつがありました。会場では、地元特産品や新そばの販売のほか、ハワイアンダンスや地元歌手の歌謡ショーなどが催され、大いに賑わっていました。

豊島区長が来町

11月10日、東京都豊島区から高野之夫豊島区長をはじめ、区議会議長や区観光協会長など21名が来町し、ふるさと森公園の匠の館で昼食会を行いました。

当町からは、大金町長や町議会議長・副議長、観光協会長などが出席し、高野豊島区長からは、「豊島区では、自然とのふれあいが体験できない。これからも那珂川町といういろいろな形で長い付き合いをしていきたい」とあいさつがありました。昼食後には、馬頭広重美術館や、ふくろうに縁のある鷲子山上神社を視察しました。



ゆりがねの湯 150万人達成

ゆりがねの湯では11月21日、利用者が150万人を突破しました。150万人目となったのは、茨城県日立市の北澤敏雄さん・まさ子さん夫妻で、大金町長から花束と記念品が贈られました。北澤さんは、月に2回くらいゆりがねの湯を利用していきなそう、「このようないことは生まれて初めてのことで本当に驚きました。とても嬉しいです」と笑顔で話していました。ゆりがねの湯は、16年7か月で利用者150万人を突破したことになります。



児童館まつり

11月13日、児童館で旧第1保育園に移転し初めての第32回児童館まつりが開催され、小学生を中心に約130人が参加しました。まず、岡館長から「馬頭地区からもたくさんの方が参加が嬉しく思います。今日は一日楽しく過ごしていただき」とのあいさつがありました。



第一部では「楽しく遊ぼう」と題しヨーヨーつり、紙コップタワー、スライムを作ろうなどバラエティーにとんだ遊びを楽しみました。第二部の「みんなでチャレンジ」では、ジャンボオセロ返しゲーム、新聞ボール合戦などチーム対抗でのゲームに挑戦。子供たちは元気いっっぱいに取り組んでいました。

高久キクノさん 祝100歳

高久キクノさん(かたくりの郷)が11月25日に100歳を迎え、佐藤佳正副町長からお祝い金と花束が贈られました。



働き者で穏やかな性格の高久さんは、農協婦人部の副会長なども務めたそう、みんなで行った温泉旅行が良い思い出のこと。長生きの秘訣を尋ねると「間食せず、毎日三食きちんと食べる」と応えてくれました。また、お祝いに駆けつけられた家族に対し、「ありがとう」と笑顔で応えていました。